



ステップ まずはSDGsのことを知ろう!

1 ゲームで楽しく学習

SDGsを楽しく学べるすごろく型教材「ゴー・ゴールズ」を使って、17の目標について学びました。



SDGsはこれまで覚えようとしてなかなか難しかったですが、すごくを通して「こんな目標があるんだ」ということを楽しく学べたので、すんなり頭に入ってきました。17個全部覚えられるようにこれからがんばって勉強していきたいです。



学びのポイント

楽しみながら学ぶことで身につけよう

「ゴー・ゴールズ」は、SDGsの各目標(ゴール)に関するクイズに答えながらコマを進めていく形式になっているので、コミュニケーションを取りながらSDGsのことを気軽に楽しく学べます(「国際連合広報センター」のホームページからダウンロードできます)。



ステップ 自分ごととして考えよう!

2 SDGsは身近にもたくさん!

「広報たちかわ」の掲載記事からSDGsに関するものを探し、それがなぜSDGsにつながるのかを考えることで、SDGsの種が身近にあふれているという気づきを得ました。



学びのポイント

身近なSDGsを探してみよう

SDGsには一見関係なさそうなもの、どうして行われているのか、何を目的にしているのかを考えてみると、持続可能な社会のために役立っていることがわかってきます。皆さんも身の回りからSDGsを探してみましょう。



ステップ 実践者から話を聞こう!

3 地産地消は地球を支える!

柏町にある「高橋果樹園」で、地産地消の大切さや、農業とSDGsの関係など、さまざまなお話を伺いました。



学びのポイント

地産地消でSDGsに取り組もう

市内では高橋果樹園さんをはじめ、ほかにもたくさんの農家が野菜や果物を生産しています。

地産地消には、輸送による環境負荷を軽減する効果があります。これも立派なSDGsです。「立川産」を見かけたらぜひ手にとってみてください。



農業はSDGsに少しくらいしか関連していないと思っていたけれど、多くの目標が農業に関連しているという話を聞いて、確かにそうだなと気づくことができました。ぼくが一番関連していると思う目標は「12つくる責任 つかう責任」だと思います。



ステップ 歴史と記憶を未来に生かそう!

4 戦争から知る平和の大切さ

第二次世界大戦中は飛行機を製造していた市内企業「株式会社立飛ホールディングス」で、当時の話を伺いました。また、戦争の爪痕が残る旧日立航空機立川工場変電所(東大和市)を見学しました。



まとめ

SDGsを学んで芽生えた思い

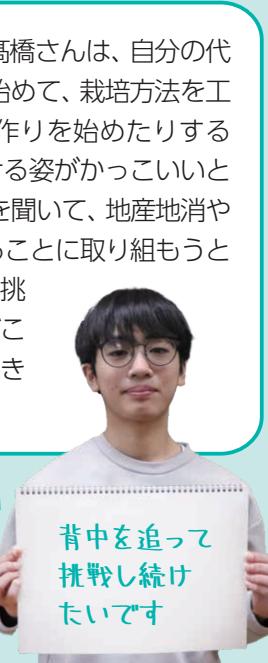
~子どもたちから読者の皆さんに伝えたいメッセージ~



授業の後、ぼくはSDGsの中でも温暖化問題について調べてまとめました。限りある資源を大切に使うということを改めて実感しました。ただ、リサイクルは手間がかかるから広がりづらいのかもしれません。ゼロカーボンシティを実現するためにも、手間を感じさせない取り組みが大切だと思いました。



私が日常でやっていることが、少しでも世界に貢献しているということがわかりました。私はごみの分別をやっています。最初はSDGsとつながりがあるとは思わずやっていましたが、今は違います。つながりを知った今は、ほかにも生活の中でできるSDGsを探して、積極的に行動していきたいです。



高橋果樹園の高橋さんは、自分の代から果物栽培を始めて、栽培方法を工夫したりジャム作りを始めたりするなど、挑戦し続ける姿がかっこいいと思いました。話を聞いて、地産地消やSDGsに関係することに取り組もうと思ったし、自分も挑戦し続けて、学ぶことを楽しんでいきたいです。

子どもたちの学びが教えてくれること

企画政策課 柏崎さん



SDGsは世界を変えるための壮大な目標です。そのため、自分には関係がないのでは?と思われるかもしれません。しかし、子どもたちの学びが示すとおり、環境のみならず、教育、産業、平和など、私たちの暮らし全体に関わる身近な課題につながっています。SDGsを達成するためには、一人ひとりができるを考え、行動していくことが大切です。まずは日常生活の中でできることから始めてみませんか。

市ホームページでは、SDGsの概要や、第5次長期総合計画との関連などを紹介しています。ぜひご覧ください。

SDGsの達成に向けた市の取り組みをご紹介します

